

2025 年 11 月 27 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 小 林 洋 行
代表者名 代表取締役社長 細 金 成 光
(コード番号 8742 東証スタンダード)
問合せ先 常 務 取 締 役 渡 辺 宏
(TEL 03-3664-3511)

資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について

当社は、2025 年 11 月 27 日開催の取締役会において、資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について、現状分析と改善に向けた取り組みについて決議しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 現状分析

(1) 資本コスト 5.0～7.0% (当社は資本コストをCAPM及び株式益利回りから算出)

※CAPM=リスクフリーレート 1.8% + β 値約 0.7

× マーケットリスクプレミア 5.0～7.0%

株式益利回り (%) 6.65 (過去 3 年平均)

(2) 資本収益性

	2023 年	2024 年	2025 年
ROE (自己資本利益率) (%)	2.23	3.85	2.41

- ① ROEは株主資本コストを大きく下回った状態
- ② 低ROEは、収益性の低さに加え、純資産が多く積み上がったことが要因と分析
- ③ 資本効率の改善に向け、収益性の向上と経営資源の適切な配分に取り組む必要性

(3) 市場評価

	2023 年	2024 年	2025 年
PBR (株価純資産倍率) (倍)	0.33	0.58	0.37
PER (株価収益率) (倍)	14.80	14.92	15.29

- ① キャピタル・アロケーションの開示がなく、成長戦略等の実現性が乏しく株価が割安であると分析

2. ROEの改善に向けた取り組み

- (1) 営業収益の拡大 収益性を向上させるため、セグメントごとの取り組みを強化する。
- (2) 成長戦略 積極的に成長投資に取り組む。
※具体的には、M&Aの実施・新規事業への参入、収益不動産の獲得などを検討する。
- (3) 資本コスト低減 自己株式の取得により、資本コスト低減を図る。
- (4) 株主還元 配当政策の見直し等、配当性向による株主還元からDOE（株主資本配当率）の導入を検討する。

これらの施策の実現により、目標KGI ROE 5%以上を実現する。

以 上